

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		食品開発科学科		
科目名称	生理学						授業形態		講義	
科目コード	290400	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員			アクティブ ラーニング	
担当教員名	永田 さやか								ICT活 用	
授業概要	本授業の目的は、人体の機能（しくみ）を理解することである。 食品の専門家であるためには、人体の機能を正しく理解していることが重要である。これを身に付けるよう、人体の構成成分および各器官・器官系について講義する。機能は構造（かたち）と密接に関連していることから、機能と構造を関連付けながら合わせて説明する。また、食事、運動などの基本的な生活活動や環境変化に対する人体の適応についても解説する。									
関連する科目	生物学Ⅰを履修済みであることが望ましい。本科目と同時期に開講される生物学Ⅱを履修することが望ましい。									
授業の進め方 と方法	各疾患の病態生理について講義をする。 授業は、パワーポイントを使用して講義する。 必要に応じて、テキストの内容を補うための資料プリントを配付する。									
授業計画 【第1回】	構造と機能からみた人体									
授業計画 【第2回】	骨 骨の構成から機能を学ぶ									
授業計画 【第3回】	筋肉 筋肉の構成から機能を学ぶ									
授業計画 【第4回】	体液と血液 体液と血液の機能を学ぶ									
授業計画 【第5回】	免疫 免疫機能について学ぶ									
授業計画 【第6回】	心臓 心臓の構成から機能を学ぶ									
授業計画 【第7回】	血管 血管の構成から機能を学ぶ									
授業計画 【第8回】	呼吸 呼吸器の構成から機能を学ぶ									
授業計画 【第9回】	体温 体温調節について学ぶ									
授業計画 【第10回】	消化器 消化器系の構成から機能を学ぶ									

授業計画 【第11回】	栄養素の消化と吸収
授業計画 【第12回】	神経 神経系の構成から機能を学ぶ
授業計画 【第13回】	内分泌 副腎や膵臓などの内分泌系の構成から機能を学ぶ
授業計画 【第14回】	味覚、嗅覚など 味覚と嗅覚について学ぶ
授業計画 【第15回】	尿の生成 腎臓と泌尿器系について学ぶ
授業の到達目標	人体の機能と構造に関する知識を身に付け、生命現象、人体における日常現象について科学的見地から説明できるようになる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)
授業時間外学習【予習】	次講義までに教科書を読んでおく（10分程度）。
授業時間外学習【復習】	講義プリント、教科書、ノートを見直す事で復習を行う（30分程度）。
課題に対する フィードバック	最終試験終了後に解説をします。
評価方法・基準	最終試験の結果で評価する。
テキスト	シンプル解剖生理学（河田光博・樋口隆著、南江堂）（2004）
参考書	人体解剖カラーリングブック（天野修・千田隆夫・鳥橋茂子監訳、丸善出版）（2020）
備考	